
少年と絵

天窪 雪路

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

少年と絵

【Nコード】

N8659P

【作者名】

天窪 雪路

【あらすじ】

ねえ、海は青色に塗ってごらんさい。それと、次は月を描くのはおやめなさい。太陽だけを描くのよ。

僕がまだ小さかった頃、ある日の美術クラスでのこと。皆がクレパスを握りしめて一生懸命に飛行機やら太陽の見える風景画やらを描いている時に、僕の隣の席の少年は周囲のクラスメートたちと同様に一生懸命にはあるが、彼らが描く絵とは性質を異にする絵を描いていた。

僕は周囲と同様にありふれた種類の静物画を描きながら、隣の少年の作品が完成されるのを心待ちにしていた。

二時間に及ぶ美術クラスが後半に差し掛かった頃、クラス担任の教師が僕の隣の少年に向かって言った。

「あなたはどうして海をオレンジ色に塗り、太陽と月を同じ絵に描くの？」

隣の少年は教師が何を言っているのか分からないようで、キョトンとした表情で教師を見つめた。

「ねえ、海は青色に塗ってごらんさい。それと、次は月を描くのはおやめなさい。太陽だけを描くのよ」

教師はそう言うと、教壇の上に何枚か重ねてある新しい画用紙のストックから一枚を取り出して来て、それをそつと隣の少年に手渡した。

少年は教師に言われた通り、青い海と太陽を描いた。

教師は「素晴らしいわ。よく描けたわね」と言って少年の頭を撫で

た。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8659p/>

少年と絵

2011年1月13日03時55分発行